

guiding question

基本的な考え

教える人の発想ではなく、学ぶ人の発想を大事に。

相手の心を開き、いきいきとする場を作る事が大事。口調に注意。

自分たちが考え、自分たちが作っているという参加意識を醸成する。

解答を一方向的に要求するよりも、一緒に考えるような雰囲気を作る。

共に考え、その手助けをするという口調で。

学生が自分で考える、という習慣の促進が最重要。むやみに正解だけに価値を置かない。

教員が教えたい内容が、学生の口から出てくるように、質問する。

一般的な例文

「この方向で、一緒に考えてみよう。」

「こんな事なくてもいいのに、と思うんだけど、するのは、どんな時だろう？」

「どうすれば良いと思う？」

「君だったら、どうして欲しい？」

「こういう事も考えられるよ。どうなんだろうね。調べておこうか。」

「プロは、こういう事もしているよ。どうなんだろうね。調べておこうか。」

「どんな危険が起るのか、最初に考えてみようか。」

「危険の内容を一つだけ覚えておくとしたら、それは何だろう？ 考えといてね。」

「不思議やな～、何でやろ。この疑問を自分で調べるには、どうしたらいいのかな？」

「君は何か、思い当たることが、有る？」

「消毒しなければ、どうなるのだろう？」

「君は〇〇したけど、その理由は？ 私にも教えてください。」

「もし、〇〇したら、どうなるのだろうか？」

「事故が起るとしたら、どんな時だろう？」

「何か、生理学的な根拠が有るのだろうか？ 授業で、何か、習った？」

「もっと良い方法が有るかもしれないね、考えてみようか？」

「利点と欠点を比べてみようか。一つでもいいから、例をあげてみようか。」

男性の導尿の場合の guiding question

これは、教材を作るとしたら、こうなるのでは……の例示です。
先生方にはもっと完成度の高いものを期待しています。

時間軸で、参考例を列挙しておくほうが、使いやすい。

導尿なら、尿道挿入 固定 留置維持 毎日の注意 抜去 抜去後の注意

実際の教育現場で、どの **guiding question** を、いつ質問するかは臨機応変に対処。

guiding question

学習者の準備状況を check

尿路の正常構造は、どうなっていたっけ？

ミクロ決死隊になったつもりで、尿道口から入ってみたとして、説明してみてくれる？

項目	教えたい内容	Guiding question の例
検査 ・ 処置 の 目的	目的の明確化、確認 治療 and/or 検査 導尿の目的：膀胱に貯まった尿を外に出す。	この処置は、どのような目的で行なわれる？ 排尿がない。それは、尿が作れないのか？それとも尿を出せないのか？
	導尿の目的：水の出納を知るために、カテーテルを留置し、経時的に尿を定量する。	
	尿道狭窄で膀胱に貯まった尿を外に出す。	どこに障害があれば、膀胱に貯まった尿が出ない？
	膀胱にカテーテルを留置すれば、尿が毎時どの程度生成されているか、測定できる。	尿量は、腎臓の働きの指標のひとつです。単位時間あたりの尿量を正確に測定する方法は？
	無尿は、原因（腎性でも腎前性、腎後性）を問わず、全身に有害。避けるべし。	「膀胱に尿が貯まったまま」では、どうなるのか？ 長期的な意味では？短期的な意味では？

項目	教えたい内容	Guiding question の例
手技の流れの俯瞰	外尿道口付近の視診で病変の有無確認 外尿道口付近の消毒 カテーテルにゼリーを塗布 カテーテルの挿入	この処置の全体的な流れは？ カテーテルは、すんなり尿道に入るのかな？ 敏感な場所だからね、いきなり入れたら痛くないのかな？

項目	教えたい内容	Guiding question の例
なぜ、そうするのか？	カテーテルの種類、構造、選択 ネラトンのカテーテルの消毒	カテーテルをまっすぐスッポンと入れると、どうなるのだろうか？ なにかにぶつかるのかな？ 尿道粘膜と膀胱の上皮、どちらが強いのだろうか？ こんな材質、どうやって消毒するのか？

項目	教えたい内容	Guiding question の例
予想される患者の精神的・身体的負担、それを取り除く工夫・言葉がけ。	戸惑い 男性医師にしてもらう羞恥心 女性にしてもらう羞恥心 カテーテルを留置したままの時の不愉快さ	君がこの検査を受けるとしたら、どうして欲しい？ 患者が痛がったときには、どうしたらいいのか？ 付き添いの娘の前で導尿されるときの、患者の気持ちは？

項目	教えたい内容	Guiding question の例
事故を起さないための注意点	患者の取り違い 出血 過剰な疼痛 尿路感染	患者の確認は、どうしたら確実かな？ 問題があるとすれば、何があるかな？ その頻度と危険性は、どうかな？ 器具の安全性を確認するには、どうしたらいいのだろうか？

項目	教えたい内容	Guiding question の例
振り返り		やってみて、どうだった？ 何が、難しい？ なぜ難しいのかな？ 今度するときに、気をつける事は？ どんな知識が足りないか、気が付きました？

途中で、前に聞いた事を、視点を変えて質問しなおし、理解度を測る。

一応の目安として30分と設定しているが、30分で全てを教えられないのは明らか。

学生の予習が不可欠。

学生指導の30分間は、学生に考えさせる事に重点を置く。

教え切れなかった部分を補うために、到達目標、参考資料、デモ・ビデオによる復習が不可欠。